

# 平成26年度 地域ケアプラザ事業報告書

## 1 施設名

### 並木地域ケアプラザ

## 2 事業報告

### 地域の現状と課題について

運営法人である横浜市社会福祉協議会の「誰もが安心して自分らしく暮らせる地域社会をみんなで作りだす」という活動理念のもと、地域のみなさんとともに地域課題の解決に向けて取り組みました。

- 1 区役所や区社協と連携して富岡第一地区および金沢シーサイドタウン地区地域支援チームに参加し「いきいき金沢・ささえあいプラン」地区別計画の推進を軸に、住民同士の見守りや支えあいにつながる関係づくりに努めました。
- 2 区役所や区社協と協力して富岡第一地区・金沢シーサイドタウン地区2地区合同の「支え合い連絡会」を年2回開催し、地域住民の視点で「気になること」「気づいたこと」等の意見交換を行い、「地域の課題の共有」「顔の見える関係づくり」に努めました。
- 3 傾斜面に建つ住宅や築30年以上のバリアフリーではない高層住宅が多く、外出しにくい地域が多いため、広報紙を発行して情報を提供するとともに、地域活動交流部門や地域包括支援センター部門を中心に、積極的に地域に赴き、並木地域ケアプラザが身近な相談窓口であることをPRしました。
- 4 親子で一緒に出かける場所が少ないため、「子育てサロン」を開催しました。
- 5 新たな担い手発掘のために、積極的にボランティアの受け入れをしました。
- 6 複数の地域ケアプラザで関わる地域について、相互に協働するとともに役割分担しながら、連携して地域支援に努めました。

### 施設の適正な管理について

#### ア 施設の維持管理について

- 1 安全かつ快適に利用していただくために、定期的に清掃を行い施設を清潔に保持しました。館内に手指用の消毒液を設置して、感染症の予防に努めました。
- 2 職員による日常点検と併せて、年間を通じて委託業者による定期的な保守・点検を実施しました。
- 3 建築基準法や消防法等の各種法令を遵守して法定点検等を実施しました。
- 4 法令にもとづいた建物の点検を行い、区役所へ結果を報告するとともに、整備が必要な箇所について速やかに改善を行いました。
- 5 施設維持管理費用については、用途にもとづき介護保険事業・指定管理事業・併設施設等で経費分担しました。

#### イ 効率的な運営への取組について

公的な施設である地域ケアプラザとしての役割を認識し、限られた予算内で適正な運営を行うため、経費の削減や資源の有効活用に努めました。

- 1 予算管理にもとづく効率的な経営
  - (1) コスト意識を持ち予算内で適正な運営を行うため、月次の収支状況を確認しながら経費削減や資源の有効活用を心がけるとともに、法人で行う共同購入に参加し、効率的・合理的な経営に努めました。
  - (2) 法人全体で経営検討を行い、執行状況を共有しました。
- 2 クールビズ及びウォームビズの推進やリサイクル品の活用等により、省エネと資源の有効活用に努めました。また、東日本大震災以降、継続して蛍光灯の本数を減らす等の節電に努めています。

#### ウ 苦情受付体制について

利用者の尊厳を尊重し、権利を擁護する仕組みとして苦情解決を位置づけ、サービスや事業の質の向上に向けて、次のことを実施しました。

- 1 法人のマニュアルにもとづき、職員一人ひとりが利用者本位の視点に立って苦情解決に取り組みました。なお本年度の苦情受付件数は5件でした。
- 2 苦情受付責任者及び苦情受付担当者を館内にわかりやすく掲示しました。
- 3 法人で苦情解決調整委員を設置し、苦情を共有し、改善に取り組みました。

#### エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- 1 施設内・法人内及び行政との連絡体制を整え、緊急時の対応に備えました。施設内事故・車両事故対応マニュアル、感染症予防マニュアル等、緊急時対応マニュアルは毎年見直しを行い、万が一の事故・災害発生時に備えています。
- 2 9月（参加者42名：地域活動ホームシーサイドと合同）と3月（参加者36名：津波想定シミュレーション）に防災・避難訓練を実施しました。
- 3 災害時特別避難場所としての役割を認識するとともに、災害時のための物資を備蓄し、適切に保管しています。
- 4 利用者不在時対応マニュアルを作成し、法人全体で共有しています。

#### オ 事故防止への取組について

法人が運営する施設間で事故報告を共有しました。その結果を受けて、各施設で事故の分析・再発防止に向けた検討・対応等を行い、事故防止に努めました。

- 1 職員会議で法人全体の事故状況を共有するとともに、リスクマネジメント担当者を中心に事故防止について部門会議等で検討し、予防に努めました。
- 2 事故対応マニュアルをはじめとする、各種マニュアルを整備しました。
- 3 対応策の振り返りと評価、体制の見直しを職員会議で実施しました。

#### カ 個人情報保護の体制及び取組について

法人が設置する規程や取扱基準に示されている具体的な手順にもとづき、個人情報の適切な活用に努めました。

- 1 個人情報が含まれるケースファイルやデータ保存媒体等は施錠管理を徹底し、必要時以外の外部への持ち出しや机上放置の禁止を徹底しました。契約書等の外部持ち出しが不可欠な個人情報の取扱いについては、持ち出し／持ち帰り確認簿を用いた確認を行うとともに、訪問先から直帰しない等、事故防止に努めました。
- 2 パソコンはワイヤロックとともにパスワード設定を徹底しています。
- 3 個人情報が含まれる文書の回覧については、事務所の書庫を活用して受渡しを行い、机上に放置する事が無いように努めました。
- 4 職員はもとより、ボランティアや実習生にも守秘義務について説明しました。

#### キ 情報公開への取組について

- 1 法人が設置する規程にもとづき情報の公開に対応しています。なお、本年度の開示請求はありませんでした。
- 2 窓口に閲覧用の決算書、個人情報取扱業務概要説明書、その他情報公開用資料を常設し、施設概要やサービス内容を見やすく、常に最新の情報を提供できるよう努めました。また、運営協議会やホームページにおいて積極的に予算・決算、事業内容等を公表しています。
- 3 通所介護と地域活動交流事業で、それぞれ毎月・隔月に広報紙を発行し、ケアプラザや利用団体の情報提供に努めました。

## ク 環境等への配慮及び取組について

ヨコハマ3R夢（スリム）プランにもとづき、ゴミの少量化（リデュース）、資源の有効活用（リユース、リサイクル）、地球温暖化防止等、全職員で環境に配慮した取り組みを行いました。

### 1 ゴミの少量化

貸し館の利用者にはゴミの持ち帰りを励行しています。また、会議資料等について、参加人数を踏まえ余分に印刷しない、両面コピーを推奨する等、省資源化を心がけ環境配慮に努めました。

### 2 資源の有効活用

ヨコハマ3R夢プランにもとづき、ゴミを排出する場合は適切に分別を行い、リサイクルするよう心がけました。リサイクルペーパーなどエコ商品を積極的に活用しました。また、地域の協力により途上国のワクチン推進の為のエコキャップの回収を実施しました。事務にあたっては積極的に裏紙を再利用しました。

### 3 地球温暖化への対応

こまめな消灯やクールビズはもとより、廊下や階段だけでなく事務所においても照明の間引きを行うなど、節電に努めました。

### 4 その他の環境への配慮

職員の外出時は徒歩や自転車、公共交通機関を利用しています。また、会車使用時はアイドリングストップなどエコドライブを実施し、公共施設として模範となるよう努めました。

## 介護保険事業

### ●介護予防支援事業

#### 《職員体制》

管理者	1名（常勤兼務）
保健師等	1名（常勤兼務）
主任ケアマネジャー	1名（常勤）
社会福祉士	1名（常勤）
ケアプランナー	1名（非常勤）

#### 《目標に対する取り組み状況》

●要支援1・2と認定された高齢者に対して、介護予防プランを作成しました。高齢者の主体性を尊重し、行動意欲を高め、家族等や地域資源を活かしたプラン作成により「本人ができることはできる限り行うこと」を基本とし、自立した生活が継続できるよう支援を行いました。

●介護予防ケアプラン作成にあたっては事業者との連携を図り、基本チェックリストなどの生活機能評価や認定審査会資料の情報をもとに、インフォーマルサービスを含めた、より良いプランづくりに心がけました。

●委託契約を結んでいる居宅介護支援事業所の契約者に対しても、初回の同行訪問や日常的に連絡をしようことで状況の把握や、ケアマネジャーとの連携を図りました。

#### 《実費負担》

●利用者の負担金はありません。

#### 《その他》

●介護予防支援事業所内で、毎月1回以上定期カンファレンスを行い、情報の共有と事例検討を行い、複数の専門職の視点での包括的支援に努めました。

#### 《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
102	106	109	106	110	103
10月	11月	12月	1月	2月	3月
114	106	103	103	106	107

●居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者 1名（常勤兼務）  
 介護支援専門員 6名（常勤兼務1名、非常勤専任4名、非常勤兼務1名）

《目標に対する取り組み状況》

- 要介護認定を受けている在宅の利用者が、住み慣れた地域でその人らしい生活を継続できるよう、ご利用者を取り巻く状況を総合的にとらえた利用者主体のケアプラン作成に努めました。
- 介護保険法の遵守を基本とし、公立中正な立場で関係機関と連携をとり、多様で総合的なサービス調整に努めました。
- 安心と満足につながる丁寧な支援プロセスをふまえ、利用者の自立支援と介護にあたる家族にも無理のない、安定した介護体制づくりを心がけました。
- 地域の関係機関との連携に努め、より良いケアプラン作成に努めました。
- 介護支援専門員として守るべき法令や倫理を自覚するとともに、更なる能力向上を図るため、内外の研修に参加し、支援の質の向上に努めました。

《実費負担》

- 利用者の負担金はありません。

《その他》

- 利用者が住み慣れた地域でその人らしい生活ができるよう、地域の身近な相談窓口としての地域ケアプラザの機能を活かした総合的な支援を行っています。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
132	137	138	138	139	135
10月	11月	12月	1月	2月	3月
139	141	140	141	137	138

## ●通所介護事業

### 《提供するサービス内容》

- 生活指導（相談援助等）
- 個別機能訓練
- 介護サービス
- 健康状態の確認
- 送迎・入浴・給食

### 《実費負担》

- 1割負担分

#### 基本額

・要介護1	639円
・要介護2	752円
・要介護3	865円
・要介護4	977円
・要介護5	1,090円

#### 加算額

・入浴加算	53円
・体制強化加算Ⅱ	7円
・介護職員処遇改善加算Ⅰ	

所定単位数に1000分の19を乗じた単位数を加算します。

- 食費負担 750円

- 行事費用（通常のレクリエーション以外に行う特別な行事） 実費

《事業実施日数》 週7日（12月29日～1月3日を除く）

《提供時間》 10:15 ～ 16:00

### 《職員体制》

管理者	1名（常勤）
生活相談員	5名（常勤・非常勤）
介助員	11名（非常勤）
看護職員	5名（非常勤兼務）
機能訓練指導員	5名（非常勤兼務）
調理員	3名（非常勤）
運転員	6名（非常勤）

### 《目標に対する取り組み状況》

介護保険法の遵守を基本に、ご利用者一人ひとりの個別性を大切にされた通所介護計画づくりに努めました。また、社会福祉協議会が運営する通所介護事業所として、地域の要介護者の要望に応えられるよう、サービスの質の向上に努めました。

- 介護保険法を正しく理解し、根拠をもって業務にあたるよう、また通所介護計画の理解を深める為、所内研修を実施しました。

- 利用者の情報についての報告、連絡、相談を職員間で徹底しました。

- 個人情報については研修を行い、漏洩事故の無いよう徹底しました。

- 職員によりサービスの質が異なることのないようマニュアルを活用するとともに、研修等を通じて業務の標準化を図りました。



《目標に対する取り組み状況》

介護保険法の遵守を基本に、ご利用者一人ひとりの個別性を大切にした通所介護計画づくりに努めました。また、社会福祉協議会が運営する通所介護事業所として、地域の要介護者の要望に応えられるよう、サービスの質の向上に努めました。

- 介護保険法を正しく理解し、根拠をもって業務にあたるよう、また通所介護計画の理解を深める為、所内研修を実施しました。
- 利用者の情報に関する報告、連絡、相談を職員間で徹底しました。
- 個人情報については研修を行い、漏洩事故の無いよう徹底しました。
- 職員によりサービスの質が異なることのないようマニュアルを活用するとともに、研修等を通じて業務の標準化を図りました。

《その他》

- 個々のご利用者の立場に立った、安心・安全・安定を基本とした、質の高いサービス提供を行っています。
- 介護保険事業所として、ご利用者・ご家族、居宅介護支援事業所から選ばれる施設運営を目指しています。
- 介護保険の基本である「自立支援」の理念にもとづいた、利用者本位のサービス提供を心がけています。

《利用者実績（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
18	16	15	16	15	16
10月	11月	12月	1月	2月	3月
15	19	15	16	15	15



### 1 総合相談（高齢者・子ども・障害分野への対応）

全ての職員が相談に対応できるよう、最新のインフォーマルサービスの資料を整備しています。「ほのぼの出張相談」「並木一丁目第三住宅出張相談」「お元気サロン」「お元気スクスク」「ふれあい体操教室」など、地域包括支援センターと地域活動交流の4職種で積極的に地域に出向き、その場で得た地域情報等を共有しています。

なお、平成26年度の相談・訪問件数は2,249件でした。うち、子育て・障がい関係の相談は12件でした。

### 2 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携

各部門相互に、それぞれの事業の中でミニ講座を依頼し合うなど、常日頃から協力体制をとっています。また、「ほのぼの出張相談」「並木一丁目第三住宅出張相談」「お元気サロン」「お元気スクスク」などの地域事業に、地域包括支援センターと地域活動交流の4職種が出向き、民生委員や地区社会福祉協議会の方との情報交換を密に行い、4職種で連携しながら個別支援から地域支援まで幅広く対応できるよう、地域との関係づくりに努めました。

また、ケアプラザの自主事業である「並木ティールーム」（隔月開催）は地域活動交流と地域包括支援センターの共催で開催しました。

その他、ミーティングを毎月定例で開催し、互いの事業や地域情報の共有を行い、協力しながら事業を実施しているほか、4職種が協働して「地域アセスメントシート」や「地域と関わった記録」を作成しています。

### 3 職員体制・育成

常勤職員は、資格要件等職員配置基準を満たした配置を行うことはもちろん、法人の人材育成計画に則り、ベテラン・中堅・新人のバランスを考慮し、区社協やケアマネジャーなど、多方面の経験を活かした人員配置を行っています。また、定期的な異動により職場の活性化を図っています。

育成については、法人における職員研修基本体系にもとづき当ケアプラザにおいても職員の研修計画を作成しました。また、法人で取り組んでいる「求められる職員像」の達成度について、年度当初および中間期（10月）・期末期（2月）に所長と職員で面談を行い、足りないところを日々の業務におけるOJTや研修に参加することで達成できるよう取り組みました。なお、本年度の研修参加件数は全体で46件（のべ65名）でした。

### 4 地域福祉のネットワーク構築

「顔の見える関係づくり、迅速な問題解決、地域福祉の推進」という三つの柱を踏まえ、次のとおり実施しました。

- 1 自治会町内会が主催するサロン（お元気サロン、第三住宅サロン）に毎月出席し、ケアプラザの機能をPRしました。
- 2 民生委員との情報交換会（6月・3月）を実施し、民生委員とケアプラザ、ケアマネジャーとの関係づくりを図りました。
- 3 富岡第一地区においては、連合自治会・地区社会福祉協議会・富岡地域ケアプラザと共催で12月に出張医療講座を開催しました。
- 4 金沢シーサイドタウン地区においては、地区社会福祉協議会と共催で毎月出張相談を実施したほか、第三住宅や富岡団地の自治会と共催で年3回ずつの出張講座を実施したほか、地区保健活動推進員の定例会や各老人会に顔出しをして情報提供をしました。
- 5 福祉保健活動団体相互のつながりづくりや地域で課題提起と解決の検討を進めることを目指して「地域ささえあい連絡会」（11月、2月）及び「貸館団体交流

会」(3月)等を開催し情報交換や活動紹介の機会を設けました。

- 6 「いきいき金沢・ささえあいプラン」の推進にあたり、地域支援チームの一員として区役所や区社協と協働して打ち合わせ及び推進連絡会に参加しました。(金沢シーサイドタウン地区：4月・10月・12月・2月3月、富岡第一地区：9月・10月・3月)

## 5 区行政との協働

地区別計画を推進するために、毎月実施している地域における出張相談(ほのぼの、並木一丁目第三住宅)、地域の会合(子育てエンジョイ委員会、保健活動推進員会議等)、地域の事業(お元気すくすく、お元気サロン、ふれあい体操教室等)に参加し、ケアプラザの活動と役割を周知や情報提供をしました。

また、金沢シーサイドタウン地区社会福祉協議会と共催で「ボランティアグループ交流会」や「たすけあいグループ交流会」を、富岡第一地区社会福祉協議会と共催で「出張医療講座」を開催しました。

一方で地域福祉保健計画地区支援チームの一員として、区や区社協と連携して打ち合わせ及び推進連絡会に参加しました。(再掲)

地域包括支援センターで関わる困難ケース等の個別支援については、毎月の定例会を通して区役所の地区担当と情報を共有し、協働して支援しました。

## 地域活動交流部門

### 1 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- 1 事業や講座等の終了時にアンケートを実施するとともに参加者から意見を聞き、事業実施の参考にしました。
- 2 地域活動交流と地域包括支援センターとで連携して地域の会合や事業に参加し、情報収集を行いました。また、講座チラシや広報紙の配布などのPRを行うことで、自治会町内会をはじめ近隣の関係機関と協力し合える関係をつくりました。
- 3 隔月発行する広報紙を活用して登録団体等の活動紹介を行い、地域に向けて福祉保健情報を発信しました。
- 4 助成金情報コーナーを常設し、横浜市ボランティアセンターや区社協などから提供された助成金情報をリアルタイムで周知し、地域団体の支援を行いました。
- 5 ホームページに広報紙の最新号を掲載し、広く福祉情報の周知に努めました。

### 2 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- 1 子育てサロンやなごみサロン等の事業を毎月開催し、様々な方が集える場を提供しました。また、11月に併設している地域活動ホームと合同でふれあいハウスフェスタを開催。日頃施設を利用している団体にバザー会場を提供するとともに近隣の多くの方に参加していただき施設のPRを行いました。
- 2 富岡東地域ケアプラザ・区社協と共催で学校と福祉の連絡会を開催(2回)し、福祉施設や学校等の顔の見える関係づくりを行いました。また、連絡会の一環として、保育園と中学校で「認知症サポーター養成講座」を実施しました。

### 3 自主企画事業

- 1 隔月発行の広報紙や講座等において地域ケアプラザの役割や事業実施について周知しました。
- 2 なごみサロンや子育てサロンを毎月開催するとともに、「親子対象」「障がい児者対象」「高齢者の社会参加」など各種の福祉講座を開催することで仲間づくりの場を提供しました。
- 3 ボランティア団体の方に講師を担ってもらい、活動内容を紹介することにより、ボランティアに感心のある方の発掘に努めました。

- 4 ボランティアグループの方々と「親子チャレンジ事業」等の講座を協働で企画することにより地域人材の育成に努めました。
- 5 ボランティアの協力を得ながら、養護学校を卒業した障がいのある青年層を対象とした余暇支援事業「青年学級 Hello!」を実施し、誰もが安心して自分らしく暮らせる地域社会の実現を目指しました。また、併設する活動ホームの職員もボランティアとして活動に協力してくれています。

#### 4 ボランティアの育成及びコーディネート

- 1 現在ボランティア活動を行っている方々の活動支援として、事業の講師や出演を依頼することで地域の福祉人材育成に努めました。  
また、新たな人材を発掘するためにボランティア団体の活動紹介を、広報紙・館内掲示・講座開催時に行いました。
- 2 内外の事業に対し、ボランティア活動希望者の調整を行いました。

#### 5 貸館事業（稼働率・利用促進策）

広報紙やホームページを用いたPRや地域向けの事業実施を通じて地域ケアプラザのPRを図り、貸し館稼働率の向上を目指します。

また、併設する「地域活動ホームシーサイド」との協定に基づき、活動ホーム利用優先枠を設けているものの、貸館利用について事前調整を行っています。

（H26年度 稼働率実績）

多目的ホール	38.50%
調理室	38.75%
ボランティアルーム	41.00%

## 地域包括支援センター

### 1 総合相談・支援

#### 総合相談

##### 1) 高齢者・障がい・児童等の基本情報整理

相談に迅速に対応できるように、相談票をわかりやすく保管し、相談者台帳は常に最新の状態で管理しています。訪問したケースについては「在宅援助記録票」を活用して記録・情報共有を行っています。

また、把握しているインフォーマルサービスについて、高齢・子育て・障がい等の分野の資料を細かく分類・整理して事務所内に保管しており、迅速に正確な情報を提供できる体制をとっています。また、ケアプラザの来所者が気軽に閲覧できるように、内容別にチラシ等を掲示しています。

##### 2) 総合相談のスキル

地域包括支援センターの相談件数は2, 237件ありました。継続相談が多いのが特徴となっています。相談援助業務に必要な研修は、組織として積極的に参加できる体制となっており、参加後は必ず研修報告を回覧すると同時に、職員会議等でも報告しているため、職員全体の能力向上につなげています。また、地域包括支援センター内および区役所と合同でのケースカンファレンスをそれぞれ毎月開催し、ケースの情報共有だけでなく援助方法についても検討・振り返りを行いました。

##### 3) 一連のケアマネジメント支援

当事者だけでなく家族の状況についても相談票に記録し、地域包括支援センター全体で把握し、家族支援の視点でも支援を行いました。

関係機関の協力が不可欠なケースについては、地域包括支援センター3職種だけでなく民生委員や区役所に協力を依頼し、より良い支援ができるよう努めました。

また、ケアマネジャーへ引き継いだ後も、常に状況把握するよう努めました。

#### 地域包括支援ネットワークの構築

社会福祉協議会が運営する地域包括支援センターとして、地区社会福祉協議会や地域の福祉保健関係者との連携・協力を大切にし「頼りにされる相談窓口」を目指し対応を行いました。

「地域ケア会議」として個別地域ケア会議を2回、包括圏域の地域ケア会議を2回実施しました。その中で、ケアマネジャーや介護保険サービス事業者はもとより、民生委員や区社会福祉協議会に参加を呼びかけ、情報の共有を行いました。

#### 実態把握

1 相談票を地域別の五十音順に保管することにより、どの相談者がいつ相談に訪れても、迅速に対応できるようにしています。また、台帳一覧をデータで常に更新し、把握しているケースの効率的な管理ができました。

2 「より身近な場所での相談」を目的に、「ほのぼの出張相談」「並木一丁目第三住宅出張相談」等の相談コーナーを地域の活動拠点で実施しました(毎月)。また、自治会の夏祭りでの出張相談の実施(8月)、老人会へ働きかけ、講座を実施する中で相談対応・状況確認も行いました(5・6・7・8・9・10・11・2月)。

継続支援ケースについては、自宅訪問してより詳細な実態把握に努め、関係機関との連絡・情報共有を図っています。

3 民生委員児童委員との情報交換会(6月・10月)や保健活動推進員(シーサイドタウン地区)の定例会に参加し、気軽に相談し合える関係を築きました。また、困難ケース等は行政機関やケアマネジャーと相談や同行訪問を行いながら支援しました。

## 2 権利擁護

### 権利擁護

#### 1) 成年後見等の適切な支援

成年後見制度に関する相談・訪問は44件でした。支援が必要なケースについては、区役所ケースワーカー等と連携しながら長期的に支援しました。

なお、成年後見制度利用に係る個別案件について、申立て支援まで至ったものはありませんでした

#### 2) 成年後見制度・消費者被害予防の普及啓発

自主事業やミニ講座、老人会等地域での会合に出向いて、制度の説明や啓発を行いました(5・6・11・2月)。

エリアの自治会を対象に、相続や遺言の出張講座を実施しました(7月)。

また、区内ケアプラザの社会福祉士合同で悪徳商法注意喚起チラシの作成をしました。区内の地域包括支援センターで協力して、ケアマネジャーを対象に成年後見制度の研修を開催しました(11月)。

### 高齢者虐待

自主事業でのミニ講座や、老人会等の地域での会合に出向いて制度の説明を行いました。(再掲)

普段からケアマネジャーや地区社会福祉協議会等の地域の関係団体と情報交換の場を持っており、高齢者虐待に関しても、疑いの段階から相談が寄せられました。

虐待に関する相談は13件あり、主にケアマネジャーからの相談、家族の暴力が背景の相談となっています。

事実関係の確認および家族へのアプローチ、関係機関の役割確認を行うほか、毎月実施している区との定例会において、ケースについて情報共有をしました。

### 認知症

1 認知症に絡む相談への支援に際しては、訪問して住宅環境から家族関係まで幅広く状況確認・アセスメントをし、家族支援も含めて対応するようにしています。権利擁護に関する相談は、認知症が関係することも多いため、対象者の権利に配慮しながら対応することを心がけました。

2 9月に元気づくりステーションにて認知症理解の出張講座、10月にケアプラザ介護者のつどいで「認知症の理解」の医療講座を実施、5・6・7月に老人会にて認知症予防の出張講座、11月に中学校での認知症サポーター養成講座、金融機関の職員を対象にした認知症サポーター養成講座など、地域住民に対して認知症をテーマに積極的な普及啓発を行いました。その際、地域の認知症キャラバンメイトを講師とすることで活動支援を行いました。併せて、ケアプラザが相談窓口であることの周知活動を行いました。

3 認知症予防自主グループ「並木いちょうの会」や「さくら並木の会」の自主活動の支援を行いました。

### 3 介護予防マネジメント

#### 二次予防対象者把握

- 1 ケアプラザ内の自主事業、地域のシニアクラブなどに積極的に出向くことを心がけ、基本チェックリストを配布し介護予防についての啓発を行った結果、早期からの介護予防への意識付けを行いました。
- 2 保健活動推進員会定例会議に出席し介護予防の周知を行い、介護予防講座の運営協力を依頼することで、委員自らが介護予防の効果を発表し普及するようになっています。また、老人会等で介護予防に関する出張講座を行う際は、常にその地域の民生委員と情報交換を図りながら実施しました。
- 3 ケアプラザ内での体操教室「ステップアップ2」や地域での「ふれあい体操教室」「日生鳥見ヶ丘健康づくり教室」など自主化の後方支援として、1～2ヶ月毎にケアプラザ職員が参加し、常に参加者とケアプラザが相談できる関係づくりを構築しました。
- 4 二次予防事業対象者に対して、電話等で現在の状況確認を行い、保健指導を行うとともに、福祉講座等を案内しました。

#### 介護予防ケアマネジメント力

個別相談、講座等においても、自立支援の考え方を念頭にケアマネジメントを行っています。

二次予防事業対象者には、保健指導を行い、ケアプラザの事業や共催で実施している地域の講座への参加を促し、その人らしい生活を過ごせるよう働きかけました。

また、地域の社会資源を活用するために、民生委員や保健活動推進員と常時情報交換を行える関係を構築しています。所内でも地域交流部門と地域包括支援センターとで毎月ミーティングを行い、情報共有を図り、ケアマネジメントに活かしています。

### 4 包括的・継続的ケアマネジメント支援

#### 地域住民、関係機関等との連携推進支援

- 1 6月・12月にさざなみ団地老人会の定例会、9月に並木第一団地老人会の定例会に出席し消費者被害を周知し、12月に忘年会に出席し日常的な相談を受けました。また、ブラウンシニアクラブにて介護保険についての講座を初めて実施しました。  
自治会町内会が主催するサロン（お元気サロン、第三住宅サロン）に毎月出席しました。また、富岡第一地区連合自治会・地区社会福祉協議会・富岡地域ケアプラザと共催で12月に出張医療講座を開催しました。  
金沢シーサイドタウン地区社会福祉協議会と共催で、毎月出張相談を実施しました。その他、第三住宅で年3回、富岡団地自治会と共催で年4回の出張講座を開催しました。その他、シーサイドタウン地区の保健活動推進員の定例会に出席したり、各老人会に顔出しをしたりして情報交換を図りました。
- 2 民生委員と地域包括支援センター・地域活動交流・地域で活動しているケアマネジャーとの情報交換会を金沢シーサイドタウン地区（6月）と富岡第一地区（3月）で実施し、独居高齢者に対する支援、地域情報の交換を行い、お互いの理解を深めました。
- 3 横浜銀行シーサイド支店にて地域の方向けに介護保険についての講座を6月、8月の2回実施しました。
- 4 地域の薬局、商店、郵便局等を訪問し、地域包括支援センターの周知活動を行いました。

### 医療・介護の連携推進支援

- 1 主任ケアマネジャー部会主催で、「ケアマネジャーと医師との情報交換会」を実施しました。(10月)
- 2 富岡東地域ケアプラザ・富岡地域ケアプラザと協働で近隣の開業医とのカンファレンスを行いました(6月・10月・2月)。
- 3 医療との連携を図るため、区内の地域包括支援センターで分担して各職種から担当者を選出し、医療ソーシャルワーカーとの意見交換会を開催しました。(2月)
- 4 協力医による健康相談事業を月2回実施しました。また、協力医に広報紙の記事や地域住民向けの講話を依頼しました。そのほか、地域ケア会議においても協力医に出席を要請し、医療的見地からの意見をもらいました。

### ケアマネジャー支援

- 1 新たな事業として、区内北部ブロック主任ケアマネジャー共催で「ケアマネカフェ」(年4回)を開催し、ケアマネジャーとの情報交換、業務上の相談支援を行いました。
- 2 北部ブロック主任ケアマネジャー共催で9月・3月に事例検討会を開催しケアマネジャー同士の連携とケアマネジメントのスキルアップを支援しました。
- 3 ケアマネジャーとの同行訪問・サービス担当者会議への参加を地域包括支援センター3職種で連携して行いました。また日常的な相談対応についても、ケアマネジャーへの支援体制が構築できています。
- 4 北部エリア内居宅介護支援事業所を訪問し、ケアマネカフェの案内、事例検討の案内を手渡すとともに情報提供を行いました。(年4回)
- 5 区ケアマネ倶楽部役員会に主任ケアマネジャーとして出席し、情報提供や支援を行いました。
- 6 新任及び就労予定ケアマネジャーに対し、主任ケアマネジャー部会において、研修会を9月・11月・2月に開催しました。また個別の育成支援も行いました。

### 多職種協働による地域包括支援ネットワーク

地域ケア会議(個別レベル)を9月・2月に開催。サービス事業者やケアマネジャーのほか、民生委員や自治会役員等の参加を得て、個別の課題について検討しつつ、地域での見守り体制について話し合うことができました。個別のケア会議の内容をふまえて、地域ささえあい連絡会の中で「圏域のケア会議」としての話し合いも行いました。(2回)

## 介護予防事業

### 介護予防事業

- 1 介護予防普及啓発事業として、「音楽療法 なみき音楽倶楽部」、「ポスチュアウォーキング」、「認知症予防講演会」を行いました。開催については、保健活動推進員やボランティアの協力を得て実施しました。
- 2 前年度立ち上がった「ふれあい・さざなみ元気づくりステーション」の運営を支援するとともに、今年度は「なみき音楽倶楽部」にて元気づくりステーション立ち上げを支援しました。
- 3 老人会や地域の自主活動グループ等を対象に介護予防に関する出張講座を開催しました。開催については、民生委員や自治会とも連携をはかり、介護予防活動支援の働きかけを行いました。
- 4 認知症予防に取り組む自主グループ「並木いちょうの会」や「さくら並木の会」の自主活動支援や、出前講座を行いました。
- 5 「体操教室ステップアップ2」や地域で活動している自主グループ「日生鳥見ヶ丘健康づくり教室」「ふれあい体操教室」の後方支援をしました。

- 6 高齢期前からの健康づくりの取り組みとして、「並木まちぐるみ健康づくり講座」を後方支援しました。
- 7 いきいきポイントの並木地域ケアプラザ内での定期的な活動者が増えるよう働きかけをしました。

## その他

### 併設施設との連携

それぞれの特性を活かしながら、併設している地域活動ホームと共同で事業を実施するなど、地域に根ざした事業を展開しました。

#### 1 地域ニーズに合わせた事業実施

「ふれあいハウスフェスタ」の共催や「障がい者青年学級 hello!」への協力等、相互に協力し合いながら事業を実施しました。また、部屋の利用についても、日によって優先枠を設けているところがありますが、お互いに柔軟に調整を図っています。

#### 2 相互協力にもとづいた運営

併設施設との覚書にもとづき、水道光熱費、施設の保守・改修等を共同で行い、効率的な管理に努めました。



# 平成26年度 地域ケアプラザ収支報告書

施設名: 並木地域ケアプラザ

平成26年4月1日～平成27年3月31日  
(単位: 千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援			
収入	指定管理料収入	18,280	23,393	149	0	0	0	
	介護保険収入	0	0	0	5,833	21,911	78,432	
	その他	214	8	0	0	5	273	
	委託料(地域包括支援センター相談体制強化事業)	0	0	0	0	0	0	
	寄付金収入	0	0	0	0	0	150	
	その他	214	8	0	0	5	123	
<b>収入合計(A)</b>		<b>18,494</b>	<b>23,401</b>	<b>149</b>	<b>5,833</b>	<b>21,916</b>	<b>78,705</b>	
支出	人件費	10,236	27,931	0	2,432	16,344	56,435	
	事務費	1,902	1,536	0	4	98	413	
	事業費	176	539	132	158	356	15,399	
	管理費	2,846	756	0	0	732	2,387	
	その他	1,188	272	0	2,126	40	6,033	
	消費税	819	0	0	0	0	0	
	介護予防プラン委託料	0	0	0	2,126	0	0	
	戻入額	369	329	0	0	0	0	
負担金・その他	0	-57	0	0	40	6,033		
<b>支出合計(B)</b>		<b>16,348</b>	<b>31,034</b>	<b>132</b>	<b>4,720</b>	<b>17,570</b>	<b>80,667</b>	
<b>収支 (A) - (B)</b>		<b>2,146</b>	<b>-7,633</b>	<b>17</b>	<b>1,113</b>	<b>4,346</b>	<b>-1,962</b>	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等他の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同様に記載をしてください。

# 平成26年度 自主事業報告書

## 横浜市並木地域ケアプラザ(地域活動交流)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
青年学級 Hello !	【目的】義務教育を終了した障がい者の余暇支援 【内容】写真クラブ・カラオケ・調理・交流会 【対象者】金沢区在住在勤の障がいのある方	通年 35回／396人

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育てサロンなみき	【目的】子育てのための仲間づくりと地域情報の提供 【内容】ボランティアの協力による子育てサロン 【対象者】未就園児と保護者	毎月第3火曜日 12回／521人

事業名	目的・内容	実施時期・回数
なごみサロンなみき	【目的】仲間づくりとシニアボランティアの育成 【内容】喫茶コーナーとフリースペースサロン事業 【対象者】地域の方	毎月第3火曜日 12回／622人

事業名	目的・内容	実施時期・回数
並木田イールーム	【目的】高齢者の閉じこもり防止と状況把握 【内容】高齢者の仲間づくりを目的としたサロン事業 【対象者】概ね60歳以上の地域の方	第2水曜日(奇数月) 6回／165人

事業名	目的・内容	実施時期・回数
布おもちゃの貸し出し	【目的】布おもちゃの貸出を通じた地域情報の把握とケアプラザのPR 【内容】布おもちゃの貸出 【対象者】子ども、高齢者、障がいのある方等の地域の方	通年 延べ利用1,432人

事業名	目的・内容	実施時期・回数
すくすく 親子講座 ～ぷちぼけっと～	【目的】親子の仲間づくりと子育て支援 【内容】歌遊び・手遊び等のプログラム 【対象者】未就園児と保護者	5～7月、9～11月/ 火曜日・金曜日 計6回／120人

事業名	目的・内容	実施時期・回数
障がい児 余暇活動支援 サマーフレンド	【目的】夏休みの余暇支援 【内容】障がいのある児童とボランティアの交流(昼食づくり、音楽) 【対象者】金沢区在住の学齢期障害児	7月25日・8月1日 2回／29人

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
親子田チャレンジ事業	【目的】親子の関係づくりと子育て支援 【内容】バスボム作り講座 【対象者】小学生と保護者	8月20日 1回／18人

事業名	目的・内容	実施時期・回数
障害児余暇支援 楽しいスポーツを しよう	【目的】障害のある子どもの余暇の充実 【内容】夏休みの障害児を対象とした余暇支援 【対象者】地域の障害のある子ども	8月8日・9日 2回／50人

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域ささえあい連絡会	【目的】福祉のまちづくりの推進及び課題の共有 【内容】地域の課題についての話し合い 【対象者】支えあい連絡会構成員	10月29日・2月23日 2回／23人

事業名	目的・内容	実施時期・回数
並木・富岡東地区学校と福祉施設の連絡会	【目的】福祉教育推進等を目的としたネットワークづくり 【内容】福祉教育や関係機関との相互の情報交換 認知症サポーター養成講座の実施 【対象者】並木・富岡東地区の保育園や学校と福祉施設	5月27日・2月26日 2回／31人

事業名	目的・内容	実施時期・回数
活動ホーム合同企画ふれあいハウスフェスタ	【目的】並木地域ケアプラザ及びシーサイドの地域への周知 【内容】併設施設と共催のチャリティーイベント企画等 【対象者】地域の方	11月29日 1回／120人

事業名	目的・内容	実施時期・回数
布おもちゃで遊ぼう	【目的】ケアプラザ布おもちゃ貸出事業の周知 【内容】近隣保育園の協力を得て、子育て世代のつながりづくり 【対象者】地域の方	8月27日 1回／12人

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
出張医療講演会	【目的】地域に向けた健康への意識づけ促進とケアプラザの周知 【内容】富岡第一地区での医療講演会 【対象者】地域の方	12月4日 1回／35人

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育てサポートシステム説明会	【目的】子育てサポートシステムの周知協力 【内容】子育てサポートシステムの説明会 【対象者】利用希望者及び興味のある方	8月12日 1回／7人

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ママもリフレッシュ	【目的】お母さんのリフレッシュ 【内容】フラダンスとグループワークを行い親同士の関係性作り 【対象者】地区にお住まいのお母さん	1月30日 1回／38人

事業名	目的・内容	実施時期・回数
金沢シーサイドタウン地区ボランティア交流会	【目的】地区内のボランティアグループの把握とネットワークづくり 【内容】地域で活動するボランティアグループの交流と情報交換 【対象者】地区ボランティアグループ	3月14日 1回／17人

事業名	目的・内容	実施時期・回数
金沢シーサイドタウン地区たすけあいグループ交流会	【目的】自治会を基盤とするたすけあいグループの把握とネットワークづくり 【内容】地域で活動するたすけあいグループ相互の交流と情報	9月20日 1回／17人

事業名	目的・内容	実施時期・回数
貸館利用団体交流会	【目的】利用団体相互の交流 【内容】団体相互の交流とケアプラザとの意見交換 【対象者】利用団体	3月25日 1回／18人

# 平成26年度 自主事業報告書

## 横浜市並木地域ケアプラザ（地域包括支援センター）

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
出張講座	【目的】地域包括支援センターの周知、情報提供、地域の方との顔が見える関係づくり 【内容】地域包括支援センターとは・介護保険制度・介護予防・口腔ケア・認知症・成年後見・消費者被害・振り込め詐欺防止等	5～3月 26回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
出張相談	【目的】地域包括支援センターが地域に出向くことにより、直接地域住民の声を聞くことができる。また地域包括支援センターの普及にも繋がる。 【内容】サロン・夏祭り等での出張相談	4～3月 14回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
「音楽療法なみき音楽倶楽部♪」	【目的】介護予防普及啓発。一次予防・二次予防対象者の把握 【内容】音楽療法士による音楽療法、運動、口腔ケア、栄養、認知症予防、権利擁護など	4月～3月 16回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
栄養講座 「旬のごはんで元気になろう」	【目的】高齢者に起きやすい低栄養の改善金沢区福祉保健センター 【内容】管理栄養士による、低栄養・食事摂取量改善のための講話と簡単につくれる骨量増加メニューの作成。	9月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
姿勢は生き方 「ポスチュアウォーキング」講座	【目的】介護予防普及啓発。一次予防・二次予防対象者の把握 高齢期前からも対象とし健康づくりを啓発 【内容】講師によるポスチュアウォーキングの実践と介護予防の必要性の講話	6～7月 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
日生鳥見ヶ丘 「健康づくり教室」	【目的】自主化したグループの後方支援 【内容】月一回の健康づくり体操。介護保険・介護予防についてのミニ講座の実施	5月～3月 11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症予防 自主グループ 「並木いちょうの会」	【目的】自主化した脳力向上グループの後方支援 【内容】脳力向上プログラム実施後の活動助言、ウォーキング同行、交流会への案内など	4月～3月 12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
体操教室 「ステップアップ2」	【目的】高齢期の健康づくり・転倒骨折予防に取り組む 自主化したグループの後方支援 【内容】健康運動指導士による体操、ケアプラザ職員や 協力医によるミニ健康講話、介護予防啓発など	4月～3月 22回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ふれあいさざなみ 「元気づくりステーション」 後方支援	【目的】元気づくりステーション事業。二次予防対象者の把握 【内容】自主活動支援。介護予防に関する企画講座	4月～3月【毎月】 20回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ほのぼの出張相談	【目的】地域に出向いた相談窓口の設置による、地域ケア プラザの周知。地区社会福祉協議会及び他の地域 ケアプラザと連携した地域の実態把握 【内容】金沢シーサイドタウン地区社会福祉協議会が主催する サロン「ほのぼの」に出張相談窓口を設置し、富岡東 地域ケアプラザと並木地域ケアプラザの職員が交代で 出向き、相談対応や血圧測定を行った。	4月～3月【毎月】 12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
「並木1丁目第三 住宅」出張相談	【目的】地域に出向いた相談窓口の設置による、地域ケア プラザの周知。自治会や地区社会福祉協議会と 連携した地域の実態把握 【内容】並木第三住宅自治会運営のサロンに相談窓口を開設	4月～3月【毎月】 12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者のつどい	【目的】介護者同士の情報交換や知識を取得できる場を 設定することで、介護者が介護による精神的及び 身体的負担を一人で抱え込まないように支援する 【内容】 ・「おしゃべりサロン」【4月・7月・1月・3月】 ・「あんしんセンター」【6月】 ・「介護保険最近情報」【8月】 ・「市大管弦楽団コンサート」【9月】 ・「認知症の介護について」【10月】 ・「悪質商法に遭わないために」【11月】 ・「クリスマスお食事会」【12月】 ・「成年後見制度」【2月】	4月～3月 11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
富岡第一地区 民生委員とケア マネジャーとの 交流会	【目的】富岡第一地区を担当する民生委員とケアマネジャー・ 地域包括支援センターが、顔の見える関係をつくり 連携して地域の要援護者を支える 【内容】民生委員・ケアマネジャーの仕事の説明・情報交換会	3月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
金沢シーサイドタウン地区民生委員とケアマネジャーの交流会	【目的】並木地域ケアプラザのエリアを担当する民生委員と地域包括支援センター、ケアマネジャーの顔の見える関係をつくり、連携して地域の要援護者を支える 【内容】独り暮らし高齢者の情報共有	6・8月 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症予防の講演会	【目的】地域住民などを対象とした認知症の理解啓発 【内容】医師による講演会	10月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域ケア会議	【目的】介護保険事業・行政・地域関係者とのネットワーク形成 【内容】個別事例をとおして「支援」についての共通理解を図る	9月・1月 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
「今度こそ本気 カラダ再生計画」	【目的】男性の地域での関係性作りと、ロコモ予防 【内容】ロコモ予防の食事について管理栄養士の講話と自宅で行える筋トレ。包括支援センター周知と介護予防について説明	11～12月 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
スリーAリーダー養成講座	【目的】地域住民による健康づくり普及啓発活動の支援 【内容】認知症についての講義とスリーAについて。実技とリーダーとしてどのように会を進めていけばよいのか実践的な講義・交流会	2月 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
第三住宅出張講座	【目的】高齢者対象の介護予防普及啓発と地域との連携 【内容】運動、認知症と介護保険、相続セミナー	7月・10月・2月 3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
富岡団地老人会出張講座	【目的】高齢者対象の介護予防普及啓発と地域との連携 【内容】介護保険制度、健康体操、認知症予防をとおした地域での仲間づくりについて	9月・11月・2月 3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
北部ブロック事例検討会	【目的】北部ブロックのケアマネジャーとの連携。事例を通じたケアマネジメントのスキルアップ。 【内容】事例検討、情報提供 【共催】富岡・富岡東・能見台地域ケアプラザ	9月・3月 年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアマネジャーと薬剤師との情報交換会	【目的】ケアマネジャーと薬剤師との連携促進。 【内容】意見・情報交換など	10月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
新任及び就労予定 ケアマネジャー研修	<p>【目的】新任及び就労予定ケアマネジャーのスキルアップと相互の連携構築</p> <p>【内容】高齢者福祉の行政サービス・地域包括支援センター業務・権利擁護・在宅リハビリテーション事業・ケアプランの作成等</p> <p>【共催】金沢区主任ケアマネジャー部会 【協力】金沢区役所</p>	9月～2月 年3回



# 平成26年度 自主事業収支報告書

並木地域ケアプラザ(地域活動交流事業)

事業名	①募集対象	自主事業決算額					
	②参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		委託料	参加費	講師謝金	材料費	その他
青年学級Hello!	障害者	89,334	53,334	36,000	70,000	19,010	324
	396名						
	300円						
子育てサロンなみき	乳幼児	0	0	0	0	0	0
	521人						
	0円						
なごみサロンなみき	地域の方	152,713	15,813	136,900	0	148,813	3,900
	622名						
	100円						
並木ティールーム	60歳以上の地域住民	26,307	21,907	4,400	18,000	5,061	3,246
	165名						
	100円～200円						
布おもちゃの貸出	地域の方々	0	0	0	0	0	0
	1,432人						
	0円						
すくすく親子講座 “ぷちぼけっと”	未就園児と保護者	18,540	12,940	5,600	18,000	540	0
	120人						
	100円						
サマーフレンド	障害児小・中学生	21,686	21,686	0	14,600	7,086	0
	29人						
	300円						
親子チャレンジ事業 バスボム作り	小学生と保護者	13,000	7,050	5,950	7,000	6,000	0
	18人						
	500～650円						
障害児余暇支援 楽しいスポーツをしよう	地域の方々	5,000	5,000	0	0	0	0
	50人						
地域ささえあい連絡会	地域の方々	8,739	8,739	0	0	0	8,739
	23人						
	0円						
並木・富岡東地区 学校と福祉施設の連絡会	地域の施設・学校職員	0	0	0	0	0	0
	31人						
	0円						
活動ホーム合同企画 「ふれあいハウスフェスタ」	地域の方々	26,425	26,425	0	0	26,425	0
	120人						
	0円						
	地域の方々						

事業名	①募集対象	自主事業決算額					
	②参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		委託料	参加費	講師謝金	材料費	その他
布おもちゃで遊ぼう	12人	0	0	0	0	0	0
	0円						
出張医療講演会	地域の方々	0	0	0	0	0	0
	35人 0円						
子育てサポートシステム 説明会	子育て養育者	0	0	0	0	0	0
	7人 0円						
ママもリフレッシュ	地域の方々	0	0	0	0	0	0
	38人 0円						
金沢シーサイドタウン地区 ボランティア交流会	地域の方	0	0	0	0	0	0
	17人 0円						
金沢シーサイドタウン地区 たすけあいグループ交流会	地域の方	0	0	0	0	0	0
	17人 0円						
貸館利用団体交流会	貸館利用団体	0	0	0	0	0	0
	18名 0円						
		361,744	172,894	188,850	127,600	212,935	16,209

# 平成26年度 自主事業収支報告書

## 横浜市並木地域ケアプラザ（地域包括支援センター）

事業名	①募集対象	自主事業決算額					
	②参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		委託料	参加費	講師謝金	材料費	その他
出張講座	一般市民・老人会など	0	0	0	0	0	0
	422人						
	0円						
出張相談	一般市民など	0	0	0	0	0	0
	173人						
	0円						
「音楽療法 なみき音楽倶楽部♪」 後方支援	高齢者	0	0	0	0	0	0
	340人						
	0円						
栄養講座 「旬のごはんで元気になろう」	高齢者	8,376	8,376	0	0	8,376	0
	10人						
	0円						
姿勢は生き方 「ポスチュアウォーキング」講 座	地域住民	30,000	30,000	0	30,000	0	0
	38人						
	0円						
日生鳥見ヶ丘 「健康づくり教室」後方支援	高齢者	0	0	0	0	0	0
	131人						
	0円						
認知症予防自主グループ 「並木いちょうの会」	高齢者	0	0	0	0	0	0
	73人						
	0円						
体操教室 「ステップアップ2」後方支援	高齢者	0	0	0	0	0	0
	308人						
	300円						
ふれあいさざなみ 「元気づくりステーション」後 方支援	高齢者	0	0	0	0	0	0
	238人						
	0円						
ほのぼの出張相談	一般市民	0	0	0	0	0	0
	120人						
	0円						
「並木1丁目第三住宅」 出張相談	一般市民	0	0	0	0	0	0
	228人						
	0円						
介護者のつどい	介護者・一般市民	7,341	7,341	0	7,341	0	0
	166人						
	0円						

事業名	①募集対象	自主事業決算額					
	②参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		委託料	参加費	講師謝金	材料費	その他
富岡第一地区民生委員と ケアマネジャーとの交流会	民生委員・ケアマネジャー	0	0	0	0	0	0
	20人						
	0円						
シーサイドタウン地区民生委員と ケアマネジャーとの交流会	民生委員	0	0	0	0	0	0
	71人						
	0円						
認知症予防の講演会	一般住民・ サービス事業所	15,000	15,000	0	15,000	0	0
	42人						
	0円						
地域ケア会議	介護保険事業所・地域関係者	0	0	0	0	0	0
	25人						
	0円						
「今度こそ本気 カラダ再生 計画」	一般市民	16,820	16,820	0	15,000	0	1,820
	30人						
	0円						
スリーAリーダー養成講座	一般住民	61,878	61,878	0	32,000	0	29,878
	21人						
	0円						
第三住宅出張講座	高齢者	0	0	0	0	0	0
	84人						
	0円						
富岡団地老人会出張講座	高齢者	0	0	0	0	0	0
	64人						
	0円						
北部ブロック事例検討会	北部エリアのケアマネジャー	0	0	0	0	0	0
	20人						
	0円						
ケアマネジャーと 薬剤師との 情報交換会	薬剤師・ケアマネジャー	0	0	0	0	0	0
	61人						
	0円						
新任及び就労予定 ケアマネジャー研修	新任及び既存ケアマネジャー	0	0	0	0	0	0
	68人						
	0円						
		139,415	139,415	0	99,341	8,376	31,698